



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

東

上場会社名 サイボーグ株式会社
 コード番号 3123
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 (氏名) 飯塚 榮一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部
 財務部長兼経理部長
 (氏名) 白田 浩二 TEL 048-267-5151
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,824	1.2	894	70.8	1,158	30.2	1,008	71.3
2025年3月期第3四半期	7,733	△6.8	523	△37.4	890	△16.5	588	△17.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,893百万円(217.9%) 2025年3月期第3四半期 595百万円(△45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 78.25	円 銭 78.12
2025年3月期第3四半期	45.00	44.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 43,009	百万円 21,818	% 45.0
2025年3月期	41,947	20,131	42.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 19,361百万円 2025年3月期 17,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
2026年3月期	—	8.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,513	2.1	1,224	51.9	1,366	9.5	1,092	27.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	13,600,000株	2025年3月期	13,600,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	708,321株	2025年3月期	715,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	12,889,152株	2025年3月期3Q	13,081,646株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にある一方で、継続する諸物価の上昇や金利・為替の変動による個人消費や企業活動に及ぼす影響、さらには米国の通商政策や日中関係の不安定化等による懸念材料もあり、国内景気は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、企業向けユニフォームのモデルチェンジ需要の増勢や、熱中症対策ウェアなどの機能製品やプリント加工事業の受注が堅調に推移しましたが、海外からの製品等仕入れにおいて、為替変動及び原材料や物流費高騰の影響を受ける等のマイナス材料に加え、一部取扱品における需要の低迷により厳しい事業活動となりました。なお、刺繡レースを扱うフロリア㈱は、従前より不採算事業であったため、当社グループ全体の経営基盤の強化や経営資源の効率化を図る観点から、9月30日をもって事業撤退・解散し、清算結了の手続きを進めております。

不動産活用事業は、賃貸物件である大型商業施設「イオンモール川口前川」、「イオンモール川口」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、引き続き営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,824百万円（前年同期比1.2%増）となりました。営業利益は894百万円（前年同期比70.8%増）となり、経常利益は1,158百万円（前年同期比30.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、一部の貸倒引当金がスケジューリング可能となり、当該一時差異の回収が見込まれる部分について法人税等調整額（益）を計上したことから、1,008百万円（前年同期比71.3%増）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、「その他」に含まれていた「インテリア施工事業」について量的な重要性が増したため、第2四半期連結会計期間から報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

① 繊維事業

マテリアル部は、環境対応商品のポリエステルバイオ糸が拡販できたものの、既存取扱い原糸販売の生産調整及び円安による販売価格上昇の影響を受けたことや、新たに取扱いを始めた防災用テント等アウトドア関連で出荷が振るわなかつたことから減収となりました。なお、前期までのアウトドア部は、当期より当部門の一事業として組織変更しております。

アパレル部は、販売先への価格転嫁が順調に進んだことや企業向けユニフォームの追加受注がありましたが、前期ほどの受注増には至らず減収減益となりました。

プリント加工品の製造・販売を行うサイバークリエイト㈱は、主力取引先の受注は堅調に推移しましたが、前期にあった大型受注がなく、工場の労務費や原材料コストが増加し減収減益となりました。

糸糊付加工を営む日宇産業㈱は、織布の受注が安定している一方、サイジング受注が減少したことでの稼働率が低下し減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は3,637百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失は20百万円（前年同期は特定の取引先に対する貸倒引当金を計上したことから304百万円の営業損失）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングが楽しめ、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、開店から5年目を迎え近隣住民生活の一部として受け入れられており、病院施設等と併せ地域インフラとして定着し、ともに売上及び収益の安定化に寄与しております。なお、前期に比べイオンモール川口前川等の修繕費用が増加したことにより減益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は2,803百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は779百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、強風等の天候の影響や設備の改修により入場者数が減少したものの、主要施設で値上げしたことや練習場で使用可能なポイント制度を廃止し、契約負債として認識していたポイント相当額を収益に計上したことから増収増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は719百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は30百万円（前年同期比200.8%増）となりました。

④ インテリア施工事業

神根サイボーグのインテリア施工事業は、一般工事物件の受注は減少したものの、大型物件の受注獲得により増収となり、前期と比べ採算性が向上し増益となりました。

この結果、インテリア施工事業の売上高は1,143百万円（前年同期比145.3%増）、営業利益は138百万円（前年同期比679.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ1,062百万円増加して43,009百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少や有形固定資産の減価償却が進んだこと等により減少したものの、土地の取得や投資有価証券が株価上昇により増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ625百万円減少して21,191百万円となりました。これは主に長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,687百万円増加して21,818百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末に比べ49百万円減少して3,633百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第3四半期連結累計期間に比べ60百万円増加して1,853百万円となりました。これは主に貸倒引当金の減少や、売上債権の減少額が減少したものの、仕入債務が増加したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第3四半期連結累計期間に比べ611百万円増加して1,122百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出が減少したものの、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第3四半期連結累計期間に比べ387百万円減少して784百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正等に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,917,933	3,871,770
受取手形、売掛金及び契約資産	1,004,849	884,654
有価証券	36,444	42,878
商品及び製品	1,362,799	1,187,300
仕掛品	12,533	5,886
原材料及び貯蔵品	96,845	118,315
その他	126,677	153,086
貸倒引当金	△102	△55
流動資産合計	6,557,981	6,263,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,800,608	19,044,850
土地	8,152,548	8,822,941
その他（純額）	340,612	441,584
有形固定資産合計	28,293,769	28,309,376
無形固定資産		
	3,163	2,563
投資その他の資産		
投資有価証券	6,601,304	7,835,842
その他	1,100,823	1,152,116
貸倒引当金	△609,149	△553,817
投資その他の資産合計	7,092,978	8,434,142
固定資産合計	35,389,911	36,746,082
資産合計	41,947,893	43,009,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483, 671	—
買掛金	—	338, 489
電子記録債務	—	297, 015
短期借入金	—	30, 000
1年内返済予定の長期借入金	757, 950	756, 956
未払法人税等	221, 605	100, 778
賞与引当金	78, 425	37, 084
役員賞与引当金	7, 000	5, 250
その他	814, 650	770, 352
流動負債合計	2, 363, 302	2, 335, 926
固定負債		
長期借入金	12, 122, 153	11, 556, 036
役員退職慰労引当金	160, 790	154, 813
退職給付に係る負債	201, 204	199, 050
長期預り保証金	5, 594, 343	5, 597, 791
資産除去債務	909, 025	913, 450
その他	465, 374	434, 016
固定負債合計	19, 452, 891	18, 855, 160
負債合計	21, 816, 194	21, 191, 086
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 402, 000	1, 402, 000
資本剰余金	825, 348	825, 348
利益剰余金	14, 306, 038	15, 108, 221
自己株式	△431, 391	△428, 016
株主資本合計	16, 101, 994	16, 907, 553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 371, 416	2, 110, 659
繰延ヘッジ損益	175, 411	263, 720
退職給付に係る調整累計額	86, 615	79, 225
その他の包括利益累計額合計	1, 633, 443	2, 453, 605
新株予約権	3, 629	2, 677
非支配株主持分	2, 392, 630	2, 454, 996
純資産合計	20, 131, 698	21, 818, 832
負債純資産合計	41, 947, 893	43, 009, 918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,733,487	7,824,400
売上原価	5,665,124	5,864,909
売上総利益	2,068,362	1,959,491
販売費及び一般管理費	1,544,509	1,064,915
営業利益	523,853	894,575
営業外収益		
受取利息	273	932
受取配当金	98,880	114,076
持分法による投資利益	327,395	209,766
その他	29,469	15,540
営業外収益合計	456,018	340,316
営業外費用		
支払利息	69,439	65,182
その他	20,382	11,088
営業外費用合計	89,821	76,271
経常利益	890,049	1,158,620
特別利益		
新株予約権戻入益	740	1,280
特別利益合計	740	1,280
特別損失		
固定資産除却損	—	104,570
特別損失合計	—	104,570
税金等調整前四半期純利益	890,789	1,055,330
法人税、住民税及び事業税	302,884	297,754
法人税等調整額	△15,533	△313,000
法人税等合計	287,351	△15,246
四半期純利益	603,438	1,070,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,795	62,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	588,643	1,008,570

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	603,438	1,070,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,311	658,432
繰延ヘッジ損益	38,838	88,308
持分法適用会社に対する持分相当額	△43,160	76,512
その他の包括利益合計	△7,633	823,253
四半期包括利益	595,805	1,893,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,574	1,828,731
非支配株主に係る四半期包括利益	13,230	65,097

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	890,789	1,055,330
減価償却費	1,056,868	1,044,309
貸倒引当金の増減額（△は減少）	414,684	△55,378
賞与引当金の増減額（△は減少）	△22,164	△41,341
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,750	△1,750
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,334	△2,153
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△58,177	△5,976
受取利息及び受取配当金	△99,154	△115,009
支払利息	69,439	65,182
持分法による投資損益（△は益）	△327,395	△209,766
売上債権の増減額（△は増加）	438,386	175,526
棚卸資産の増減額（△は増加）	345,430	160,676
仕入債務の増減額（△は減少）	△719,339	151,833
その他	336,399	24,626
小計	2,325,353	2,246,110
利息及び配当金の受取額	99,381	115,236
利息の支払額	△69,439	△65,182
法人税等の支払額	△561,730	△442,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,793,564	1,853,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	73,375	—
有形固定資産の取得による支出	△299,729	△1,056,341
固定資産の除却による支出	△7,738	△60,200
有形固定資産の売却による収入	—	376
投資有価証券の取得による支出	△253,882	△28,532
投資有価証券の売却による収入	28,314	26,772
定期預金の増減額（△は増加）	△94,950	△3,192
貸付けによる支出	—	△2,500
貸付金の回収による収入	—	121
その他	44,076	1,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,536	△1,122,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	180,000	130,000
短期借入金の返済による支出	△180,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△921,574	△567,111
配当金の支払額	△209,306	△206,210
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	2,640	3,150
その他	△41,467	△42,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,172,440	△784,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,169	3,966
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	118,757	△49,355
現金及び現金同等物の期首残高	3,421,239	3,682,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,539,996	3,633,271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	インテ リア施 工事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	4,188,705	2,619,268	680,020	245,493	7,733,487	—	7,733,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	205,686	—	220,734	426,768	△426,768	—
計	4,189,052	2,824,955	680,020	466,227	8,160,256	△426,768	7,733,487
セグメント利益 又は損失(△)	△304,284	812,261	10,118	17,761	535,856	△12,003	523,853

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	インテ リア施 工事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	3,636,709	2,619,102	719,120	849,467	7,824,400	—	7,824,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	379	184,671	—	294,275	479,327	△479,327	—
計	3,637,089	2,803,773	719,120	1,143,743	8,303,727	△479,327	7,824,400
セグメント利益 又は損失(△)	△20,776	779,625	30,437	138,445	927,732	△33,156	894,575

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「インテリア施工事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。